

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

平成 31 年 2 月

本校の自己点検・評価について

本校の自己点検・評価は5年ごとに高専機構の年度計画に基づき実施することとしていた。しかしながら、前回（平成25年）の機関別認証評価（学位授与機構）時に『中期目標・中期計画に対する年度計画の実施状況をまとめた中で教育の状況に関する自己点検・評価がなされているものの、評価項目・評価基準の設定には不十分な点があり、聴取した意見については十分には反映されていない。また、評価内容の記載も十分とはいえない。』また、『自己点検・評価に関して、平成18年度までは自己点検・評価報告書としてまとめられていたが、その後は、中期計画の実施状況を「中期計画 評価表」として作成し、活動の実績に対する自己点検・評価としているが、学校の活動の総合的な状況に対する効果的な自己点検・評価の実施という点では、評価項目・評価基準の設定には不十分な点がある。』との指摘を受け学内で検討した結果、機関別認証評価の評価項目を用いて本校の自己点検・評価を7年ごとに行うこととした。

機関別認証評価の評価項目を用いることとしたのは、教育機関において「内部質保証システム」として、自ら教育研究活動を行う上で、自己点検・評価を行い、その結果に基づいて自己改善し、第三者の評価を受けることで教育研究活動の改善を継続的に行う仕組みを整備し機能していることが求められており、機関別認証評価基準は教育活動を中心とした教育研究活動を総合的に判断できる基準となっているためである。

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目	自己点検結果	資料名	担当	
1-1教育活動を中心とした学校の総合的な状況について、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。		自己点検評価委員会	
	(1) 学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針を定めているか。	定めている	1-1-①-(1)-1 ・自己点検・評価の実施について 1-1-①-(1)-2 ・認証評価の実施について	自己点検評価委員会
	(2) (1)の方針において、自己点検・評価の実施体制(委員会等)を整備しているか。	整備している	1-1-①-(2)-1 ・自己点検・評価委員会規則 1-1-①-(2)-2 ・実施体制図	自己点検評価委員会
	(3) (1)の方針において、若しくは同方針に基づいて、自己点検・評価の基準・項目等を設定しているか。	設定している	1-1-①-(3) ・自己点検・評価書	自己点検評価委員会
	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		自己点検評価委員会
	(1) 根拠となるデータや資料等を定期的に収集・蓄積しているか。	収集・蓄積している	1-1-②-(1)-1 ・アンケート実施状況一覧	自己点検評価委員会
	(2) 自己点検・評価を定期的に実施しているか。	実施している(今年度実施予定) 今までは5年ごとに実施していたが、今年度より、機関別認証評価の評価項目を用いて、機関別認証評価の2年前に実施することとした。	1-1-②-(1)-2 ・アンケートホームページ掲載状況	自己点検評価委員会
	(3) (2)の結果を公表しているか。	公表している		自己点検評価委員会
	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		自己点検評価委員会
	(1) 自己点検・評価の実施に際して、次の各者の意見を反映するようになっているか。	在学生 卒業(修了)時の学生 卒業(修了)から一定年数の卒業(修了)生 保護者 就職・進学先関係者 教職員	1-1-③-(1)-1 ・授業アンケート 1-1-③-(1)-2 ・ところと体の健康調査 1-1-③-(1)-3 ・教育改善アンケート(本科) 1-1-③-(1)-4 ・教育改善アンケート(専攻科) 1-1-③-(1)-5 ・卒業生アンケート 1-1-③-(1)-6 ・入学者の保護者向けアンケート 1-1-③-(1)-7 ・保護者授業参観 1-1-③-(1)-8 ・就職先アンケート	自己点検評価委員会
	(2) 自己点検・評価の実施において、聴取された意見の評価結果及び他の様々な評価の結果等を踏まえて行っているか。	【在学生の意見聴取】 ・学習環境に関する評価 ・学生による授業評価 ・学生による教育・学習の達成度に関する評価 ・学生による満足度評価 【卒業(修了)時の意見聴取】 ・卒業(修了)時の学生による教育・学習の達成度に関する評価 ・卒業(修了)時の学生による満足度評価 【卒業(修了)後の意見聴取】 ・卒業(修了)後の学生による学習成果の効果に関する評価 【外部評価】 ・外部有識者の検証 ・教育活動に関する第三者評価(機関別認証評価・特例適用専攻科) ・設置計画履行状況調査	1-1-③-(2)-1 ・自己点検・評価委員会議事要旨	自己点検評価委員会
	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		自己点検評価委員会
(1) 自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような体制が整備されているか。	整備されている	1-1-④-(1)-1 ・外部評価室規則 1-1-④-(1)-2 ・外部評価委員会規則 1-1-④-(1)-3 ・外部評価委員会議事要旨	自己点検評価委員会	
(2) 前回の機関別認証評価における評価結果について、「改善を要する点」として指摘された事項への対応をしているか。	対応している	1-1-④-(2)-1 ・前回認証評価で改善を要する点として指摘を受けている事項 1-1-④-(2)-2~8 ・改善状況	自己点検評価委員会	
(3) (2)以外で、実際に、自己点検・評価や第三者評価等の結果に基づいて改善に向けた取り組みを行っているか。	改善に向けた取り組みを行っている 今年度実施の自己点検・評価結果に基づき実施する		自己点検評価委員会	
1-2 準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業(修了)の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。		教務委員会	
	(1) ガイドライン等を踏まえ、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)を定めているか。	準学士課程全体として定めている 学科ごとに定めている (2020年度入学生より変更予定)		教務委員会
	(2) 卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)が、「何ができるようになるか」に重点を置いたものであり、かつ準学士課程全体、各学科の目的(本評価書Ⅱに記載したものと)整合性を有しているか。	整合性を有している	1-2-①-1 ・本科ディプロマ・ポリシー(ホームページ)	教務委員会
	(3) 卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)の中で、学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力、並びに、養成しようとする人材像等の内容を明確に示しているか。	示している		教務委員会
	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		教務委員会
	(1) ガイドライン等を踏まえ、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)を定めているか。	準学士課程全体として定めている		教務委員会
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)は、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)との整合性を有しているか。	整合性を有している	1-2-①-1 ・本科カリキュラム・ポリシー(ホームページ)	教務委員会
	(3) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)は、どのような内容を含んでいるか。	・どのような教育課程を編成するかを示している ・どのような教育内容・方法を実施するかを示している ・学習成果をどのように評価するかを示している		教務委員会
	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		入学WG
	(1) ガイドライン等を踏まえ、入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)を定めているか。	準学士課程全体として定めている		入学WG
	(2) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)は、学校の目的や学科の目的、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえて策定しているか。	目的・方針等を踏まえて策定している	1-2-①-1 ・本科アドミッション・ポリシー(ホームページ)	入学WG
	(3) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)には、「入学者選抜の基本方針」を明示しているか。	明示している		入学WG
(4) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)には、「求める学生像(受け入れる学生に求める学習成果を含む。)」を明示しているか。	明示している		入学WG	
(5) 受入れる学生に求める学習成果には「学力の3要素」に係る内容が含まれているか。	含まれている		入学WG	

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目	自己点検結果	資料名	担当	
<p>シー)、入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)(以下「三つの方針」という。)が学校の目的を踏まえて定められていること。</p>	<p>(専攻科課程) 1-2-④ 専攻科課程の修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) ガイドライン等を踏まえ、修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)を定めているか。 (2) 修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)が、「何ができるようになるか」に力点を置き、専攻科課程全体、各専攻の目的と整合性を有しているか。 (3) 修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)の中で、学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力、並びに、養成しようとする人材像等の内容を明確に示しているか。</p>	<p>満たしていると判断する 専攻科課程全体として定めている 整合性を有している 示している</p>	<p>専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会</p>
	<p>1-2-⑤ 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)が、修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と整合性をもち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) ガイドライン等を踏まえ、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)を定めているか。 (2) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)は、修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)との整合性を有しているか。 (3) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)は、どのような内容を含んでいるか。</p>	<p>満たしていると判断する 専攻科課程全体として定めている 整合性を有している ・どのような教育課程を編成するかを示している。 ・どのような教育内容・方法を実施するかを示している。 ・学習成果をどのように評価するかを示している。</p>	<p>専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会</p>
	<p>1-2-⑥ 専攻科課程の入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	<p>(1) ガイドライン等を踏まえ、入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)を定めているか。 (2) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)は、学校の目的や専攻科課程の目的(本評価書Ⅱに記載したもの)、修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえて策定しているか。 (3) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)には、「入学者選抜の基本方針」を明示しているか。 (4) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)には、「求める学生像(受け入れる学生に求める学習成果を含む。)」を明示しているか。 (5) 受入れる学生に求める学習成果には「学力の3要素」に係る内容が含まれているか。</p>	<p>満たしていると判断する 専攻科課程全体として定めている 目的・方針等を踏まえて策定している 明示している 明示している(2020年度学生募集要項よりHPの内容で統一予定) 含まれている</p>	<p>専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会</p>
	<p>1-3 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されていること。</p>	<p>1-3-① 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されているか。 (1) 学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、適宜点検する体制となっているか。 (2) 学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、適宜点検しているか。</p>	<p>満たしていると判断する なっている 点検して、改定を予定している(2019年度改定予定)</p>	<p>教育担当副校長 1-3-①-(1)-1 ・教務委員会規則 1-3-①-(1)-2 ・専攻科委員会規則 1-3-①-(2) ・教務委員会議事録 教育担当副校長 教育担当副校長</p>
	<p>自己点検・評価委員会</p>	<p>平成25年度の機関別認証評価において指摘事項として挙げられていた「自己点検」について新しい基準に基づき実施されている点は大きな改善事項である。三つのポリシーがきちんと定められており、今後、随時見直しを行うこととしている。特筆すべき点として次のことが挙げられる。今年度より自己点検・評価の整備が行われ、定期的に自己点検を行うことを制度化されたことである。改善すべき点として次のことが挙げられる。卒業・修了時に実施したアンケート結果によると、本校の教育目標に対して、ほとんどの項目について達成度は高いが、英語力についてはまだ不十分であり、グローバル化が推進される中で、学校全体で英語力向上と海外への興味付けを考える必要がある。三つのポリシーがホームページに掲載されているが募集要項等に掲載してある内容の整合性がないため、今後統一する必要がある。</p>		

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目		自己点検結果		資料名	担当	
2-1 学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。	2-1-① 学科の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 学科の構成が学校の目的及び卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と整合性がとれているか。	満たしていないと判断する 整合性がとれていない 本校では、学校教育法第115条に規定された目的を同じく本校の目的として掲げている。そして、「創造性と実践的技術力を兼ね備えた国際的エンジニア」を教育理念とし、「『学んで創れるエンジニア』の育成」を準学士課程及び専攻科課程共通の教育目標としている。準学士課程及び専攻科課程で育成しようとする具体的な技術者像は、各学科及び各専攻での個別的教育目的として定められている。この教育目的を達成するために身に付けなければならない知識や育成すべき能力等は、教育目標として学科及び専攻ごとに個別に定められている。以上のように、理念に基づいた、教育目的並びに教育目標は、階層的に整備され、また、明確に定められている。 特に、2020年度以降の入学生に対する教育目標(ディプロマポリシー)については、本校の教育目標に対応するように改定を行い整合性が取れる形に改定を行う予定である。	2-1-①-(1)-1 ・学則 2-1-①-(1)-2 ・教育目標(学校要覧)	教育担当副校長 教育担当副校長	
	2-1-② 専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 専攻の構成が学校の目的及び修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と整合性がとれているか。	満たしていると判断する 整合性が取れている 教育課程の編成における一般科目では、ディプロマ・ポリシーに掲げる、技術者としてのコミュニケーション能力や社会知識の習得に対応する。専門共通科目では、各専門を基盤とし、分野との融合を図る。専門展開科目では、技術者としての企画、提案、問題解決能力の習得に努める。	2-1-②-(1) ・教育目標(学校要覧)	専攻科委員会	
	2-1-③ 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備されているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制を整備しているか。 (2) (1)の体制の下、必要な活動を行っているか。	満たしていると判断する 整備している 行っている	2-1-③-(1)-1 ・組織図(学校要覧) 2-1-③-(1)-2 ・教務委員会規則 2-1-③-(1)-3 ・専攻科委員会規則 2-1-③-(1)-4 ・学生委員会規則 2-1-③-(2)-1 ・教務委員会議事要旨 2-1-③-(2)-2 ・授業合同WG会議議事録 2-1-③-(2)-3 ・入学WG会議議事要旨 2-1-③-(2)-4 ・学生委員会議事要旨 2-1-③-(2)-5 ・専攻科委員会議事要旨	教育担当副校長 教育担当副校長 教育担当副校長	
2-2 教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されていること。	2-2-① 学校の目的を達成するために、準学士課程に必要な一般科目担当教員及び各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 一般科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。 (2) 専門科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。 (3) 専門科目を担当する専任の教授及び准教授の数を法令に従い、確保しているか。 (4) 適切な専門分野の教員が授業科目を担当しているか。	満たしていると判断する 確保している 確保している 担当が適切である	・高専専門学校現況表 ・担当教員一覧表	管理運営担当副校長 管理運営担当副校長 管理運営担当副校長 管理運営担当副校長 管理運営担当副校長、教育担当副校長	
		(5) 適切な教員配置について専門分野以外に配慮していることがあるか。	・ネイティブスピーカー ・実務経験 ・海外経験 工学専門の英語教育において、ネイティブスピーカーによる授業を実施し、実践的な英語教育を行っている。 実務者として、企業経験者を採用することにより、実社会経験を踏まえた教育を行っている。 在外研究など海外生活をj経験している教員による、グローバル人材育成に役立っている。		管理運営担当副校長、教育担当副校長	
		以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 満たしていると判断する場合にあっては、特例適用専攻科の認定に係る結果を利用する場合は、当該結果が利用できるとした根拠理由を記述すること。	満たしていると判断する 特例適用専攻科の認定を受けている 第三者が全国高等で同一基準で評価している。		専攻科委員会 専攻科委員会	
		(1) 専攻科の授業科目担当教員を適切に確保しているか。 (2) 適切な専門分野の教員が授業科目を担当しているか。 (3) 適切な研究実績・研究能力を有する教員が研究指導を担当しているか。	適切に確保している 担当が適切である 学位授与機構の基準に適合した教員を配置している。 担当が適切である		・担当教員一覧 2-2-②-(1) ・専攻科課程学科別担当教員数 2-2-②-(2) ・専攻科担当教員(学校要覧) 2-2-②-(3) ・専攻科教員資格についての基準	専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会
		以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 教員の配置について、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏ることのないよう配慮しているか。 (2) (1)以外に配慮している措置はあるか。	満たしていると判断する 配慮している 資料教員公募要項にあるように、教員を公募する際に女性を優先に採用して、女性が数多く配置できるように配慮している。また、助教を採用することを明記し、より下の年齢の教員を採用することで、年齢構成が歪にならないように配慮している。 ・男女比 ・その他 採用する教員は、学科の年齢構成を見ながら偏らないようにしている。		2-2-③-(1)-1 ・職員数・年齢構成一覧(ホームページ) 2-2-③-(1)-2 ・学科別年齢分布 2-2-③-(2) ・教員公募例	管理運営担当副校長 管理運営担当副校長
2-2-③ 学校の目的に応じた教育研究活動の活性化を図るため、教員の年齢構成等への配慮等適切な措置が講じられているか。	(3) 在職する教員に対して教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るために行っている措置等はあるか。	・公募制の導入 ・教員表彰制度の導入 ・校長裁量経費の予算配分 ・他の教育機関との人事交流 ・その他 在外研究への補助を校長裁量経費から支出している。	2-2-③-(3)-1 ・高専・科技大間教員交流制度取扱要領 2-2-③-(3)-2 ・在外研究員の取扱いについて 2-2-③-(3)-3 ・校長裁量経費「シーズ発掘型奨励研究」公募要領 2-2-③-(3)-4 ・機構本部教員顕彰候補者提出計画	管理運営担当副校長		

2 教育組織及び教員・教育支援者等

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目	自己点検結果	資料名	担当		
2-3 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 全教員(非常勤教員を除く。)に対して校長又はその委任を受けた者による教育上の能力や活動実績に関する評価を定期的に行い、その結果を基に給与・研究費配分への反映や教員組織の見直し等の適切な取組を行う体制を整備しているか。	満たしていると判断する	管理運営担当 副校長		
		整備している	2-3-①-(1) ・人事構想委員会規則	管理運営担当 副校長	
	2-3-① 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。	(2) (1)の体制の下、教員評価を実施しているか。	実施している	2-3-①-(2)-1 ・校長面談周知 2-3-①-(2)-2 ・校長面談スケジュール 2-3-①-(2)-3 ・授業アンケート 2-2-①-(2)-4 ・授業アンケート結果 2-2-①-(2)-5 ・教員による自己点検、相互評価について 2-2-①-(2)-6 ・教員による自己点検評価	管理運営担当 副校長
	(3) 把握した評価結果を基に、行っている取組はあるか。	・教員組織の見直し ・表彰 学生評価・教員自己評価・教員相互評価をもとに評価を行い、学校組織内の管理職、委員長の選考に役立てている。また、評価が高い教員を教員顕彰に推薦している。	2-2-③-(3)-4 ・機構本部教員顕彰候補者提出計画	管理運営担当 副校長	
	(4) 非常勤教員に対し教員評価を実施しているか。	実施している	2-3-①-(2)-3 ・授業アンケート 2-3-①-(2)-4 ・授業アンケート結果	管理運営担当 副校長	
	2-3-② 教員の採用や昇格等に関する基準や規定が明確に定められ、適切に運用されているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する	管理運営担当 副校長	
		(1) 教員(非常勤教員を除く。)の採用・昇格等に関する基準を法令に従い定めているか。	定めている	2-3-②-(1)-1 ・人事構想委員会規則 2-3-②-(1)-2 ・教員選考手続について 2-3-②-(1)-3 ・教員の公募 2-3-②-(1)-4 ・教員昇任基準・指針	管理運営担当 副校長
		(2) (1)で定められている基準等では、教育上の能力等を確認する仕組みとなっているか。	・模擬授業の実施 ・教育歴の確認 ・実務経験の確認 ・海外経験の確認	2-3-②-(1)-2 ・教員選考手続について 2-3-②-(1)-3 ・教員の公募	管理運営担当 副校長
		(3) (1)の基準等に基づき、実際の採用・昇格等を行っているか。	採用は公募要項のように採用している。校内昇任については、昇任基準・指針と人事構想委員会規則に準じて適正な審査をしている。昇任については、公募制としている。	2-2-③-(2) ・教員公募例 2-3-②-(3) ・教員昇任審査に係る個人履歴等の作成について(通)	管理運営担当 副校長
		(4) 非常勤教員の採用基準等を定めているか。	定めている	2-3-②-(4) ・非常勤講師の任用に関する取扱いについて	管理運営担当 副校長
		2-4 教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われていること。また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する	FD/SD委員会
			(1) 学校として、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究(ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。))を実施する体制を整備しているか。	整備している	2-4-①-(1) ・FD/SD委員会規則
(2) 定期的なFDを実施しているか。			実施している	2-4-①-(2) ・教職員の人材育成	FD/SD委員会
(3) (2)のFDを実施した結果が、改善に結びついているか。	結びついている 資料2-4-①-(2)内の新規FD/SD研修プログラムで得られた成果で記述		2-4-①-(2) ・教職員の人材育成	FD/SD委員会	
2-4-② 学校における教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置されているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する	管理運営担当 副校長		
	(1) 教育支援者等(事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。)を法令に従い適切に配置しているか。	配置している	・高等専門学校現況表 2-4-②-1 ・事務組織図(学校要覧) 2-4-②-2 ・事務組織規則	管理運営担当 副校長	
	(2) 図書館に司書等の専門的職員を法令に従い適切に配置しているか。	配置している	2-4-②-3 ・事務分掌規則 2-4-②-4 ・実践教育支援センター規則	管理運営担当 副校長	
2-4-③ 教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。	(1) 教育支援者等(事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。)に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組を適切に行っているか。	行っている	2-4-③-(1)-1 ・研修参加一覧 2-4-③-(1)-2 ・実践教育支援センター出張先一覧 2-4-③-(1)-3 ・実践教育支援センター研修会 2-4-③-(1)-4 ・図書館職員出張研修一覧	管理運営担当 副校長	
自己点検・評価委員会	特筆すべき点として次のことが挙げられる。今年度より教員昇任基準を明確にし、学科を超えた昇任審査を実施した。教員採用についても年齢構成を均等にするために「助教」のみの採用とした。専攻科の教育課程においては、ディプロマ・ポリシーに掲げる、専攻科において、技術者としてのコミュニケーション能力や社会知識の習得に対応したカリキュラムの提供、専門共通科目・専門展開科目での各専門を基盤とし分野との融合を図るための工夫をしている。専攻科の専門授業を担当する教員は博士の学位を有し、学位授与機構の審査に合格している。改善を要する点として次のことが挙げられる。アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの全体の周知と公開文章・要覧への統一化及びその評価。教員評価と管理職・委員長決定は学生評価、相互評価、自己評価と校長面接によって行っているが、実務経験、海外経験、模擬授業なども評価の中に入れることも考慮すべきである。FD/SD研修などの教職員研修は実施しているが、実施回数及び参加者が少ないため教員研修がより活性化する方策が必要である。				

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目	自己点検結果	資料名	担当	
<p>3-1-① 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。</p>	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する	施設設備委員会	
	(1) 自主的学習スペースを設けているか。	設けている	3-1-①-(1)-1 ・スペースの有効活用に関する取組状況 3-1-①-(1)-2 ・スペースの有効活用に関する取組状況②	施設設備委員会
	(2) 教育研究環境の充実を図るため、施設・設備を設けているか。	厚生施設	3-1-①-(2) ・構内配置図	施設設備委員会
	(3) 施設・設備の安全衛生管理体制を整備しているか。	整備している	3-1-①-(3)-1 ・安全衛生委員会規則 3-1-①-(3)-2 ・学生委員会規則 3-1-①-(3)-3 ・学生相談室規則 3-1-①-(3)-4 ・学生事件・事故緊急連絡体制及び役割分担 3-1-①-(3)-5 ・安全マニュアル(ホームページ) 3-1-①-(3)-6 ・実習工場利用の手引き 3-1-①-(3)-7 ・校内諸施設の課外使用心得 3-1-①-(3)-8 ・体育施設、器具使用心得	安全衛生委員会
	(4) (3)の体制が有効に機能しているか。	機能している ・安全衛生委員会では年に一度、教職員を対象とした健康教育を実施している。平成29年度は11月27日に、資料の最終頁に記載の通知文に基づいて、AEDを用いた救命法講習会を実施した。 ・学生対象として、実習工場では実習工場の使用に関する講習会を開催している。 また、課外活動時の対応として学生に説明している。	3-1-①-(4)-1 ・安全衛生委員会議事概要 3-1-①-(4)-2 ・学生向け安全講習会(実践教育支援センター) 3-1-①-(4)-3 ・課外活動における学生の怪我の対応方法	安全衛生委員会
	(5) 施設・設備のバリアフリー化への配慮を行っているか。	行っている (未整備の箇所あり)	3-1-①-(5)-1 ・バリアフリー対策予算年度計画 3-1-①-(5)-1 ・バリアフリー鳥瞰平面図	施設設備委員会
	(6) 整備された教育・生活環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制を整備しているか。	整備している	3-1-①-(6)-1 ・施設設備委員会規則 3-1-①-(6)-2 ・教育改善アンケート	施設設備委員会 自己点検・評価委員会
<p>3-1-② 教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。</p>	(7) (6)の体制において、教育・生活環境の利用状況や満足度等を把握し、改善等を実際に行っているか。	行っている 施設設備委員会において、不動産検査を行い、不備がある箇所について、修繕内容を決定し、修繕を行っている。	3-1-①-(7)-1 ・教育改善アンケート結果 3-1-①-(7)-2 ・不動産検査とりまとめ 3-1-①-(7)-3 ・施設設備委員会議事録	施設設備委員会 自己点検・評価委員会
	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する	3-1-②-(1)-1 ・PCワーキングエリアとe-Learning環境(学校要覧) 3-1-②-(1)-2 ・メディア教育センター規則	学術情報委員会
	(1) 教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境を適切に整備しているか。	整備している	3-1-②-(2)-1 ・機構情報セキュリティポリシー基本方針 3-1-②-(2)-2 ・情報セキュリティ管理規程 3-1-②-(2)-3 ・情報セキュリティ教職員規程 3-1-②-(2)-4 ・情報セキュリティ学生規程 3-1-②-(2)-5 ・情報セキュリティ推進規則 3-1-②-(2)-6 ・情報セキュリティ講習会の開催について 3-1-②-(2)-7~8 ・シラバス	学術情報委員会
	(2) ICT環境のセキュリティ管理体制を適切に整備しているか。	整備している	3-1-②-(3)-1 ・情報演習室関係時間割 3-1-②-(3)-2 ・wb授業科目	学術情報委員会
	(3) ICT環境は有効に活用されているか。	活用されている	3-1-②-(4)-1 ・メディア教育センター規則 3-1-②-(4)-2 ・教育改善アンケート	学術情報委員会
<p>3-1-③ 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究に必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。</p>	(4) (3)について学生や教職員のICT環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制を整備しているか。	機能している ネットワーク機器更新、無線LANの更新及び増設を行い、ネットワーク環境の改善を行った。	3-1-②-(5)-1 ・ネットワーク改善	学術情報委員会
	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する	3-1-③-(1) ・メディア教育センター(学校要覧)	図書館WG
	(1) 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究に必要な資料を系統的に収集、整理しているか。	系統的に収集、整理している	3-1-③-(2)-1 ・図書館の主な概要 3-1-③-(2)-2 ・利用者区分別貸出統計 3-1-③-(2)-3 ・雑誌・CD・DVD利用状況 3-1-③-(2)-4 ・電子ジャーナル実績	図書館WG
(2) (1)の資料は、教職員や学生に有効に活用されているか。	活用されている	3-1-③-(3)-1 ・図書館利用の手引き 3-1-③-(3)-2 ・ブックハンティング参加者募集	図書館WG	
(3) (1)の資料が有効に活用されるための取組を行っているか。	行っている			

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目	自己点検結果	資料名	担当
3-2-① 履修等に関するガイダンスを実施しているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 教育を実施する上でのガイダンスをどのような対象に対して実施しているか。 ・学科生 ・専攻科生 ・編入学生 ・留学生 ・その他(留年生)	3-2-①-(1)-1 ・本科生前期履修登録について 3-2-①-(1)-2 ・科目の履修登録について 3-2-①-(1)-3 ・履修人数制限目一覧 3-2-①-(1)-4 ・使用教科書等一覧 3-2-①-(1)-5~7 ・履修説明会資料 3-2-①-(1)-8 ・開講科目 3-2-①-(1)-9 ・専攻科オリエンテーション、ガイダンス配布資料一覧	教務委員会
3-2-② 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握され、学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 学生の自主的学習を進める上で、どのような相談・助言体制を整備しているか。 (2) (1)は、学生に利用されているか。 (3) 学習支援に関して学生のニーズを把握するための制度があるか。 (4) (3)は、有効に機能しているか。	満たしていると判断する ・対面型の相談受付体制の整備 利用されている ・意見投書箱 機能している	学習支援WG 学習支援WG 学習支援WG 学習支援WG
3-2-③ 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 留学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。 (2) (1)の体制において、留学生の支援を必要に応じて行っているか。 (3) 編入学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。 (4) (3)の体制において、編入学生の支援を必要に応じて行っているか。 (5) 社会人学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。 (6) (5)の体制において、社会人学生の支援を必要に応じて行っているか。 (7) 障害のある学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。 (8) (7)の体制において、障害のある学生の支援を必要に応じて行っているか。 (9) 障害者差別解消法第5条及び第7条又は第8条(第9条、第10条、第11条の関係条項も含む。)に対応しているか。 (10) 上記以外の特別な支援を行っているか。	満たしていると判断する 整備している 行っている 整備している 行っている 整備している 行っている 実績はない 整備している 行っている 対応している 行っている。 上肢下肢に障害のある学生(車いす利用)について、個別支援ワーキンググループのもとで校内生活全般にわたる支援計画を策定、介助・サポート要員として当該障害学生専属の支援員を雇用・配置して支援を実施した。また、当該学生のクラスルームを控室に近い場所に移動させるとともに、それが困難な場合はエレベーターに近い場所に設定。そのほか、事務フロア等で段差がある場合は、スロープを用意した。 毎年、島根学生相談研究会(島根大学、島根県立大学及び松江高等専修学校)や松江市内特別支援学校教育相談等担当者連絡会における研修会や情報交換会等に参加し、障害学生支援に係る情報交換等を行っている。 教職員のための障害学生支援に関するマニュアル等を作成・配付している。 学生に対する意識啓発として、授業、新入生オリエンテーション、講演等により、学生の障害学生支援についての理解促進・意識啓発を図っている。また、平成23年度から毎年度、1年生の保健の授業として身体不自由者疑似体験を実施している。	留学生WG 留学生WG 留学生WG 教務委員会 教務委員会 教務委員会 教務委員会 個別支援委員会 個別支援委員会 個別支援委員会 個別支援委員会

3 学習環境及び学生支援等

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目		自己点検結果	資料名	担当
3-2 教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。	3-2-④ 学生の生活や経済面に係る指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 学生の生活や経済面における指導・相談・助言等の体制に関し、どのように整備しているか。	満たしていると判断する 学生相談室 保健センター 相談員やカウンセラーの配置 ハラスメント等の相談体制 学生に対する相談の案内等 奨学金 授業料減免 特待生 緊急時の貸与等の制度	学生委員会
	(2) 健康診断及び健康相談・保健指導を定期的に実施しているか。	実施している	3-2-④-(2)-1 ・学生定期健康診断仕様書 3-2-④-(2)-2 ・学校医執務記録 3-2-④-(2)-3 ・保健室・学生相談室予定表 3-2-④-(2)-4 ・ソーシャルワーカーのご案内	学生委員会
	(3) (2)以外で、(1)の体制に基づいた学生の生活や経済面における指導・相談・助言等の活動が実際に学生に利用されているか。	利用されている	3-2-④-(3)-1 ・学生相談件数 3-2-④-(3)-2 ・保健室利用状況 3-2-④-(3)-3 ・授業料免除選考資料 3-2-④-(3)-4 ・学生支援機構奨学生名簿	学生委員会
3-2-⑤ 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能しているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制を整備しているか。	満たしていると判断する 整備している	3-2-⑤-(1) ・キャリア支援室規則	キャリア支援室
	(2) (1)の体制の下、就職や進学等の進路指導を含めたキャリア教育に関して、学校としてどのような取組を行っているか。	機能している	3-2-⑤-(2)-1 ・インターンシップ説明会(ホームページ) ・ビジネスマナー講座 ・キャリア講演会(ホームページ) 等実施状況 3-2-⑤-(2)-2 ・業界・企業研究セミナーなど(ホームページ) 3-2-⑤-(2)-3 ・就職情報(ホームページ)	キャリア支援室
	(3) (2)の取組が機能しているか。	機能している	3-2-⑤-(3)-1 ・教育改善アンケート 3-2-⑤-(3)-2 ・資格取得に伴う特別学修一覧	キャリア支援室
3-2-⑥ 学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する	3-2-⑥-(1)-1 ・学生委員会規則 3-2-⑥-(1)-2 ・学生会準則 3-2-⑥-(1)-3 ・学生会会則 3-2-⑥-(1)-4 ・学生会細則 3-2-⑥-(1)-5 ・学生ガイドブック 3-2-⑥-(1)-6 ・福祉施設使用内規 3-2-⑥-(1)-7 ・合宿研修施設使用内規 3-2-⑥-(1)-8 ・マイクロバス贈呈	学生委員会
	(1) 学生の課外活動に対する支援体制を整備しているか。	整備している	3-2-⑥-(2)-1 ・学生会顧問教員名簿	学生委員会
	(2) (1)の体制において、責任の所在が明確になっているか。	なっている	3-2-⑥-(3)-1 ・後援会予算書 3-2-⑥-(3)-2 ・後援会教育支援課外活動支援費支出基準	学生委員会
(3) 学校としての支援活動の内容からみて、(1)の体制が機能しているか。	機能している		学生委員会	

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目		自己点検結果		資料名	担当
		以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する。		寮務委員会
	3-2-⑦ 学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。	(1)学生寮は、生活・勉学の場として有効に機能しているか。	機能している。	3-2-⑦-(1)-1 ・直野寮在籍生数表 3-2-⑦-(1)-2 ・直野寮生活のしおり 3-2-⑦-(1)-3 ・直野塾実施について 3-2-⑦-(1)-4 ・教育改善アンケート 3-2-⑦-(1)-5 ・直野寮報告(外部部評価委員会)	寮務委員会
		(2)管理・運営体制を整備しているか。	整備している。	3-2-⑦-(2)-1 ・寮務委員会規則 3-2-⑦-(2)-2 ・寄宿舎日直規則 3-2-⑦-(2)-3 ・寮宿日直割当表 3-2-⑦-(2)-4 ・寮務関係者緊急時連絡網	寮務委員会
自己点検・評価委員会	特筆すべき点として次のことが挙げられる。学年主任を中心に学年会を組織し学生の生活面における指導をしている(毎週実施し、行事等の全体確認だけでなく、気になる学生やケアが必要な学生に対して担任だけに任せるのではなく、学年会全体で対応している)。朝の学生ショートホームルームの前に教員朝の会を実施し、担任・アドバイザーに対して教務委員会、学生委員会、寮務委員会やその他各種委員会からの伝達事項を伝えるだけでなく、学生の様々なことに関して情報共有に取り組んでいる。定期試験後には学生一人一人に対して担任が面談することによってきめ細かい心配りをしている。経済面における指導についても、担任が中心となって奨学金などの指導、助言などを行っており、経済的な学生支援体制は十分整っている。健康診断については毎年4月に午後から授業を休校にして一斉に行っている。課外活動においては、新入生入学時に学生主事、学年主任から課外活動に参加することの重要性を指導したうえで、多くの学生が課外活動に従事できている。すべての部活に主顧問、副顧問を配置し、学生の活度が円滑になるようになっている。今後検討を要する点として次の点が挙げられる。部活動についての改善事項としては、業務削減が叫ばれる中、課外活動の重要性を教員が十分認識したうえで段階的に縮小していくことは必然で、今後、課外活動の在り方について教員間で議論する必要がある。改善を要する点として以下の点が挙げられる。学生のニーズを確認するため意見投書箱を置いているが、利用が少なく十分に機能していないことと社会人学生支援の体制はあるが、受入等の実績がないのは改善事項である。				

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目		自己点検結果	資料名	担当			
4-1 学校の目的を達成するために、教育研究活動を将来にわたって適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有しており、活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されていること。	4-1-① 学校の目的を達成するための活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する				
		(1) 収支に係る方針、計画等を策定しているか。	策定している	4-1-①-(1)-1 ・予算配分方針について 4-1-①-(1)-2 ・学校協議会議事概要	会計室		
		(2) (1)を関係者(教職員等)へ明示しているか。	明示している	4-1-①-(2) ・予算配分(ホームページ)	会計室		
		以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		会計室		
		(1) 学校の目的を達成するために、教育研究活動に対して適切な資源配分を決定する際、明確なプロセスに基づいて行っているか。	行っている	4-1-②-(1)-1 ・予算委員会議事概要 4-1-②-(1)-2 ・学校協議会議事概要	会計室		
		(2) 資源配分が、4-1-①の収支に係る方針、計画と整合性を有しているか。	整合性がある	4-1-②-(2) ・予算配分書	会計室		
	4-1-② 学校の目的を達成するため、教育研究活動を将来にわたって適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有しており、活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、履行されていること。また、学校の財務に係る監査等が適正に実施されていること。	4-1-③ 学校を設置する法人の財務諸表等が適切な形で公表されているか。また、財務に係る監査等が適正に行われているか。	(3) 資源配分の内容について、関係者(教職員等)に明示しているか。	明示している	4-1-①-(2) ・予算配分(ホームページ)	会計室	
			以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		会計室	
			(1) 財務に係る監査等を実施しているか。	実施している	4-1-③-(1)-1 ・内部監査実施規則 4-1-③-(1)-2 ・監査報告 4-1-③-(1)-3 ・監事監査報告書 4-1-③-(1)-4 ・監事監査・内部監査チェックシート 4-1-③-(1)-5 ・内部監査報告書 4-1-③-(1)-6 ・高専相互会計内部監査の結果について 4-1-③-(1)-7 ・高専相互会計内部監査項目チェックリスト	会計室	
		4-2 学校の目的を達成するために必要な管理運営体制及び事務組織が整備され、機能していること。また、外部の資源を積極的に活用していること。	4-2-① 管理運営の諸規程が整備され、各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動しているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		総務係
				(1) 管理運営体制に関する規程等を整備しているか。	整備している	4-2-①-(1)-1 ・規則一覧 4-2-①-(1)-2 ・内規等一覧 4-2-①-(1)-3 ・運営組織規則	総務係
				(2) 委員会等の体制を整備しているか。	整備している	4-2-①-(2)-1 ・運営組織規則 4-2-①-(2)-2 ・学校協議会規則 4-2-①-(2)-3 ・組織図(学校要覧)	総務係
(3) 校長、主事等の役割分担が明確になっているか。	なっている			4-2-①-(3) ・運営組織規則	総務係		
(4) 事務組織の体制を規程等に基づき整備しているか。	整備している			4-2-①-(4) ・事務組織規則	総務係		
(5) 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保しているか。	確保している			4-2-①-(5)-1 ・学校協議会規則 4-2-①-(5)-2 ・校務分担	総務係		
4-2-② 危機管理を含む安全管理体制が整備されているか。	(6) (1)~(5)の体制の下、効果的な活動を行っているか。		行っている	4-2-①-(6) ・学校協議会議事概要	総務係		
	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。		満たしていると判断する		総務係		
	(1) 学校として、責任の所在を明確にした危機管理を含む安全管理体制を整備しているか。		整備している	4-2-②-(1) ・危機管理要領	総務係		
	(2) 危機管理マニュアル等を整備しているか。		整備している	4-2-②-(2)-1 ・緊急連絡網 4-2-②-(2)-2 ・学生指導の指針及びリスクマネジメント	総務係		
	(3) (1)(2)に基づき、定期的に訓練を行うなど、危機に備えた活動を行っているか。		行っている	4-2-②-(3) ・学生事件・事故緊急連絡体制及び役割分担	総務係		
	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。		満たしていると判断する		研究担当校長補佐		
4-2-③ 外部資金を積極的に受入れる取組を行っているか。	(1) 外部の財務資源(科学研究費助成事業による外部資金、受託研究、共同研究、受託試験、奨学寄附金、同窓会等からの寄付金等)を積極的に受入れる取組を行っているか。	行っている	4-2-③-(1)-1~4 ・科学研究費補助金等採択状況 ・受託研究受入状況 ・共同研究受入状況 ・寄附金受入状況	研究担当校長補佐			
	(2) 公的研究費を適正に管理するシステムが整備されているか。	整備されている	4-2-③-(2) ・Web調達システムの導入について	会計室			
	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		教務委員会			
4-2-④ 外部の教育資源を積極的に活用しているか。	(1) 外部の教育・研究資源を活用しているか。	活用している	4-2-④-(1)1~10 ・島根大学との包括連携協定書 ・島根県立大学との包括連携協定書 ・広島大学大学院との教育研究交流に関する協定書 ・広島大学大学院との実習派遣に関する覚書 ・シラバス ・課外活動に係る外部コーチの指導依頼計画書	教務委員会			
	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		FD/SD委員会			
4-2-⑤ 管理運営のための組織及び事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、研修等、管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組(スタッフ・ディベロップメント)が組織的に行われているか。	(1) SD等を実施しているか。	実施している	4-2-⑤-(1)-1~2 ・FD/SD委員会規則 ・研修一覧	FD/SD委員会			

4 財務基盤及び管理運営

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目			自己点検結果	資料名	担当
4-3 学校の教育研究活動等の状況やその活動の成果に関する情報を広く社会に提供していること。	4-3-① 学校における教育研究活動等の状況についての情報(学校教育法施行規則第172条の2に規定される事項を含む。)が公表されているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する	・ウェブサイト掲載項目 チェック表	広報委員会
		(1) 教育情報を法令に従い適切に公表しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・高等専門学校の教育上の目的及び学校教育法施行規則第165条の2第1項の規定により定める方針 ・教育研究上の基本組織 ・教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績 ・入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況 ・学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準 ・校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境 ・授業料、入学科その他の高等専門学校が徴収する費用 ・高等専門学校が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援 		
		(2) 特に、高等専門学校の教育上の目的及び学校教育法施行規則第165条の2第1項の規定により定める方針について、学校内の構成員への周知を行っているか。	行っている。	4-3-①-(2) ・教育情報の公開(ホームページ)	広報委員会
自己点検・評価委員会	委員会の効率化を目的に、今年度、委員会削減に伴う校内組織の変更を行ない、来年度から実施することにした。				

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目		自己点検結果	資料名	担当		
5-1 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されていること。	5-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されていること。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		授業合同WG	
		(1) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえて、適切な授業科目を体系的に配置しているか。	配置している	5-1-①-(1)-1~2 ・カリキュラム表 ・教育目標と授業科目	授業合同WG	
		(2) 一般教育の充実に配慮しているか。	配置している	5-1-①-(1)-1 ・カリキュラム表	授業合同WG	
		(3) 進級に関する規定を整備しているか。	整備している	5-1-①-(3) ・学業成績評価並びに課程修了及び卒業認定等に関する規則	教務委員会	
		(4) 1年間の授業を行う期間を定期試験等の期間を含め、35週確保しているか。	確保している	5-1-①-(4) ・教育関係行事予定表	教務委員会	
	5-1-② 教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。	(5) 特別活動を90単位時間以上実施しているか。	実施している	5-1-①-(4) ・教育関係行事予定表、 5-1-①-(5) ・シラバス	教務委員会	
		以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		教務委員会	
	5-1-③ 創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。	(1) 学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等を踏まえ、教育課程における具体的な配慮としてどのようなことを行っているか。	・他学科の授業科目の履修を認定 ・インターンシップによる単位認定 ・正規の教育課程に関わる補充教育の実施 ・外国語の基礎能力(聞く、話す、読む、書く)の育成 ・資格取得に関する教育 ・個別の授業科目内での工夫 ・最先端の技術に関する教育	5-1-②-(1)-1~13 ・本科・専攻科共通科目分担一覧 ・シラバス ・資格取得に伴う特別学修	教務委員会	
		(2) 他の高等教育機関との単位互換制度を設けている場合、法令に従い適切に取り扱っているか。	適切に取り扱っている。 2018年度に島根大学と単位互換を行う予定	5-1-②-(2)-1 ・放送大学教養学部授業科目一覧	教務委員会	
	5-1-③ 創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		教務委員会	
		(1) 創造力を育む教育方法の工夫を行っているか。	行っている	5-1-③-(1)-1~11 ・シラバス	教務委員会	
	5-2 準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。	5-2-① 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に照らし、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	(2) 実践力を育む教育方法の工夫を行っているか。	行っている	5-1-③-(2)-1~ ・シラバス ・カリキュラム表	教務委員会
			以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		教務委員会
		5-2-② 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に照らし、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	(1) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に照らし、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されているか。	採用されている。 修了要件(64単位)を満たすようカリキュラムが適切に配置されている。2019年度に検証予定	5-2-①-(1)-1 ・教育目標、科目の系統図 ・シラバス例	教務委員会
			(2) 教育内容に応じて行っている、学習指導上の工夫には、どのような工夫があるか。	・AL型授業、フィールド型授業、PBL型授業、反転授業を実施している(授業例とそのシラバスを例示する予定	5-1-③-(1)-1~11 ・シラバス 5-2-①-(2)-1~2 ・シラバス	教務委員会
5-2-② 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。		以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断しない		教務委員会	
		(1) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえて適切に設定された項目に基づきシラバスを作成しているか。	・授業科目名 ・単位数 ・授業形態 ・対象学年 ・担当教員名 ・教育目標との関係 ・達成目標 ・教育方法 ・教育内容(1授業時間ごとに記載) ・成績評価方法・基準 ・事前に行う準備学習 ・高等専門学校設置基準第17条第3項に基づく授業科目目か、4項の規定に基づく授業科目かの区分の明示 ・教科書・参考文献	5-2-②-(1)-1 ・シラバスの書き方について 5-2-②-(1)-2~4 ・シラバス例	教務委員会	
5-2-② 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。		(2) 教員及び学生のシラバスの活用状況を把握し、その把握した状況を基に改善を行っているか。	改善を行っていない 2018年度にアンケートを実施し検証予定		教務委員会	
		(3) 設置基準17条第3項の30単位時間授業では1単位当たり30時間を確保しているか。	確保している	5-1-①-(4) ・教育関係行事予定表、 5-2-②-(3)-1 ・時間割表 5-2-②-(3)-2 ・日課時間表	教務委員会	
5-2-② 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。		(4) (3)の30単位時間授業では、1単位時間を50分としているか。	本校では1単位時間を45分とし、2時間連続の90分授業を標準としている。授業開始から本題への導入(出席確認や前回授業の復習等)に要する時間を短縮し、全ホールーム教室に設置されたプロジェクターを使って板書の時間を減らすなどして授業の内容を工夫し、学習効果を上げることで、1単位時間標準50分と同程度の水準を確保している。授業は、15回以上を確保しており、1単位30単位時間を確保している。90分授業の教育効果の検証は、授業改善委員会から教務委員会への検討事項として挙げられ、教務委員会で検討している。これらの報告から、各科目担当教員が授業内容を若干変更するなど対応することにより、教育の質を維持していることを確認している。	5-2-②-(3)-2 ・日課時間表	教務委員会	
		(5) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合には、授業科目ごとのシラバス、あるいはシラバス集、履修要項等に、1単位の履修時間は授業時間以外の学修等を合わせて45時間であることを明示しているか。	明示している	5-2-②-(5) ・シラバス例	教務委員会	
		(6) (5)の履修時間の実質化のための対策としてどのような方策を講じているか。	・授業外学習の時間の把握 自学時間を授業の度にチェックを行い、自学自習時間の過不足を調整している	5-2-②-(6) ・選択科目出席簿例	教務委員会	

5 準学士課程の教育課程・教育方法

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目		自己点検結果	資料名	担当	
5-3 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)並びに卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、成績評価・単位認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。	5-3-① 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断しない	教務委員会	
		(1) 成績評価や単位認定に関する基準を、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、策定しているか。	策定している	5-1-①-(3) ・学業成績評価並びに課程修了及び卒業認定等に関する規則	教務委員会
		(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等を行っているか。	行っている	5-3-①-(2)-1 ・第三者評価用成績資料の一斉点検について 5-3-①-(2)-2 ・第三者評価用成績資料チェックリスト	教務委員会
		(3) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているか。	把握している	5-2-②-(5) ・シラバス例 5-2-②-(6) ・選択科目出席簿例	教務委員会
		(4) 成績評価や単位認定に関する基準を学生に周知しているか。	周知している	5-1-①-(3) ・学業成績評価並びに課程修了及び卒業認定等に関する規則	教務委員会
		(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	把握していない 2018年度アンケートを実施予定		教務委員会
		(6) 追試、再試の成績評価方法を定めているか。	定めている	5-1-①-(3) ・学業成績評価並びに課程修了及び卒業認定等に関する規則	教務委員会
		(7) 成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会があるか。	ない 2019年度授業アンケートで実施予定		教務委員会
	5-3-② 卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。	(8) 成績評価等の客観性、厳格性を担保するため、どのような組織的な措置を行っているか。	成績保管資料として保存しており、年に1度教員の相互チェックを実施している	5-3-①-(2)-1 ・第三者評価用成績資料の一斉点検について 5-3-①-(2)-2 ・第三者評価用成績資料チェックリスト	教務委員会
		以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		教務委員会
		(1) 学則等に、修業年限を5年(商船に関する学科は5年6月。)と定めているか。	定めている	5-3-②-(1) ・学則	教務委員会
		(2) 卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、卒業認定基準を定めているか。	定めている	5-3-②-(2)-1 ・3つの方針(ホームページ) 5-1-①-(3) ・学業成績評価並びに課程修了及び卒業認定等に関する規則	教務委員会
		(3) 卒業認定基準に基づき、卒業認定しているか。	認定している	5-3-②-(3)-1 ・修了課程の要件 5-3-②-(3)-2 ・留年者リスト	教務委員会
		(4) 卒業認定基準を学生に周知しているか。	周知している	5-1-①-(3) ・学業成績評価並びに課程修了及び卒業認定等に関する規則	教務委員会
(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	把握していない 2018年度アンケートを実施予定		教務委員会		
自己点検・評価委員会	改善を要する点として次のことが挙げられる。シラバスの活用状況把握と成績評価の認知状況把握が不十分であり、2018年度(平成30年度)より卒業時アンケートにてシラバスの活用状況と成績評価基準等の把握について調査することとした。成績評価結果についての意見申立ての機会があったかどうかについて把握していないため、2019年度の授業アンケートに加える予定である。				

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目		自己点検結果	資料名	担当	
6 準学士課程の学生の受入れ	6-1-① 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)に沿って適切な入学方法で実施され、機能していること。また、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)、特に入学選抜の基本方針に沿った入学選抜方法(学生募集の方針、選抜区分(学力選抜、推薦選抜等。)、面接内容、配点・出題方針等。)となっているか。	満たしていると判断する	6-1-①(1)-1 ・学生募集要項 6-1-①(1)-2 ・入学選抜(推薦)面接実施要領 6-1-①(1)-3 ・本科入学選考要領 6-1-①(1)-4 ・学科別の志願者と倍率 6-1-①(1)-5 ・編入学生募集要項 6-1-①(1)-6 ・編入入学選抜試験面接実施要領 6-1-①(1)-7 ・本科編入学試験合否判定資料について 6-1-①(1)-8 ・編入入学選抜試験実施状況	入学WG
		満たしていない		入学WG	
	6-1-② 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学選抜の改善に役立っているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制を整備しているか	満たしていると判断する		入学WG
		(2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)に沿っているかどうかの検証を行っているか (3) (2)の検証の結果を入学選抜の改善に役立っているか。	整備している 行っている 改善に役立っている	6-1-②(1)-1 ・教務委員会規則 6-1-②(2) ・入学WG会議議事要旨 6-1-②(2) ・入学WG会議議事要旨	入学WG 入学WG 入学WG
	6-1-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 学生定員を学科ごとに1学級当たり40人を標準として、学則で定めているか。 (2) 学科ごとの入学定員と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制を整備しているか。 (3) 過去5年間の学科ごとの入学定員に対する実入学者数が適正であるか。 (4) 過去5年間で、実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合は、改善の取組を行っているか。	満たしていると判断する		入学WG
		定めている 整備している 適正である 過去5年間で大幅に超過、大幅に不足していないので、該当しない	6-1-③(1)-1 ・学則 6-1-②(1)-1 ・教務委員会規則 平均入学定員充足率計算表	入学WG 入学WG 入学WG 入学WG	
	自己点検・評価委員会	準学士課程の学生受け入れについては、アドミッション・ポリシーに基づいて実施されており、検証も入学WGによって適切に実施されている。また、実入学者は定員を充足している。			

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目		自己点検結果	資料名	担当	
7 準 学 士 課 程 の 学 習 ・ 教 育 の 成 果	7-1-1 成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に沿った学習・教育の成果が認められるか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する	教務委員会	
		(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	整備している	7-1-①-1 ・教務委員会規則 7-1-①-2 ・卒業研究実施要項	教務委員会
		(2) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価しているか。	把握・評価している	7-1-①-3 ・教員連絡会の開催について	教務委員会
		(3) (2)の結果から学習・教育の成果が認められるか。	認められる	7-1-①-4 ・成績資料 7-1-①-5 ・学務情報システム	教務委員会
	7-1-2 達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に沿った学習・教育の成果が認められるか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		教務委員会
		(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・卒業生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	整備している	7-1-②-1 ・教務委員会規則	教務委員会
		(2) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	行っている	7-1-②-2 ・自己点検・評価委員会規則	教務委員会
		(3) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業生(卒業後5年程度経った者)に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	行っている	7-1-②-3 ・教育改善アンケート結果 7-1-②-4 ・卒業生アンケート結果	教務委員会
		(4) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	行っている	7-1-②-5 ・就職先アンケート結果	教務委員会
	7-1-3 就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	(5) (2)~(4)の評価結果から学習・教育の成果が認められるか。	認められる	7-1-②-6 ・自己点検・評価委員会議事要旨	教務委員会
		以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。	満たしていると判断する		教務委員会
		(1) 学校として把握している最近5年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	認められる		教務委員会
自己点検・評価委員会	準学士課程の学習・教育成果については、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育が実施されており、教務委員会において検証もされている。	(2) 学校として把握している就職先や進学先は、各学科の養成しようとする人材像に適したものとなっているか。	なっている	卒業生進路実績表 教務委員会	

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目		自己点検結果	資料名	担当		
8-1 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	8-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 満たしているとは判断する場合にあっては、特例適用専攻科の認定に係る結果を利用する場合は、当該結果が利用できること根拠理由を記述すること。 (1) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	満たしているとは判断する 特例適用専攻科の認定を受けている。(第三者が全国高専で同一基準で評価している。) 配置している。(教育課程の編成における一般科目では、ディプロマ・ポリシーに掲げる、技術者としてのコミュニケーション能力や社会知識の習得に対応する。専門共通科目では、各専門を基礎とし、分野との融合を図る。専門展開科目では、技術者としての企画、提案、問題解決能力の習得に努める。)	専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会		
	8-1-② 準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 満たしているとは判断する場合にあっては、特例適用専攻科の認定に係る結果を利用する場合は、当該結果が利用できること根拠理由を記述すること。 (1) 専攻科の教育課程は、準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮しているか。	満たしているとは判断する 特例適用専攻科の認定を受けている。(第三者が全国高専で同一基準で評価している。) 考慮している。	専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会		
	8-1-③ 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に照らし、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されているか。 (2) 教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫は、どのような工夫があるか。	満たしているとは判断する 採用されている。 修了要件(64単位)を満たすようカリキュラムが適切に配置されている。 ・対話・討論型授業 ・情報機器の活用	専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会		
	8-1-④ 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 満たしているとは判断する場合にあっては、特例適用専攻科の認定に係る結果を利用する場合は、当該結果が利用できること根拠理由を記述すること。 (1) 学生への教養教育や研究指導を、適切に行っているか。	満たしているとは判断する 特例適用専攻科の認定を受けている。(第三者が全国高専で同一基準で評価している。) 行っている。	専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会		
	8-1-⑤ 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、策定され、学生に周知されているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 成績評価や単位認定に関する基準を、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、策定しているか。 (2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等を行っているか。 (3) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているか。 (4) 成績評価や単位認定に関する基準を学生に周知しているか。 (5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。 (6) 追試、再試の成績評価方法を定めているか。 (7) 成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会があるか。	満たしているとは判断する 策定している。(100点満点において60点以上と追記する。) 行っている。 把握している。(1回の講義当たり90分の予習が必要なレベルの評価(提出物・試験)を行うと追記する。) 周知している。 把握している。(WEBシステムで把握している。また、専攻科履修ガイダンスにおいて説明し、その場で学生の認知状況を把握する。) 定めている。 ある。	専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会		
		8-1-⑤(8) 成績評価等の客観性、厳格性を担保するため、どのような組織的な措置を行っているか。	・成績評価の妥当性の事後チェック ・答案の返却 ・模範解答や採点基準の提示 ・複数年時にわたり同じ試験問題が繰り返されていないこと ・試験問題のレベルが適切であること ・試験問題のレベルが適切であること ・試験問題のレベルが適切であること ・試験問題のレベルが適切であること ・試験問題のレベルが適切であること ・試験問題のレベルが適切であること	8-1-⑤(8) ・第三者評価用成績資料	専攻科委員会	
		8-1-⑥ 修了認定基準が、修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 学則等に、修業年限を1年以上と定めているか。 (2) 修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、修了認定基準を定めているか。 (3) 修了認定基準に基づき、修了認定しているか。 (4) 修了認定基準を学生に周知しているか。 (5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	満たしているとは判断する 定めている。 定めている。 認定している。 周知している。 把握している。 専攻科履修ガイダンスにおいて説明し、その場で学生の認知状況を把握する。	専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会	
		8-2-① 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)に沿って適切な入学選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。	(1) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)に沿って適切な入学選抜方法(学生募集の方針、選抜区分(学力選抜、推薦選抜等。)、面接内容、配点・出題方針等)となっているか。	満たしているとは判断する なっている。	専攻科委員会 専攻科委員会	
		8-2-② 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)に沿って適切な入学選抜方法を改善するための取組が行われており、適正な数の入学状況であること。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制を整備しているか。 (2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)に沿っているかどうかの検証を行っているか。 (3) (2)の検証の結果を入学選抜の改善に役立てているか。	満たしているとは判断する 整備している。 行っている 改善に役立てている	専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会	
			8-2-③ 実入学数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学数との関係の適正化が図られているか。	(1) 学生定員を専攻ごとに学則等で定めているか。 (2) 専攻ごとの入学定員と実入学数との関係を把握し、改善を図るための体制を整備しているか。 (3) 過去5年間の専攻ごとの入学定員に対する実入学数が適正であるか。 (4) 過去5年間で、実入学数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合は、改善の取組を行っているか。	満たしているとは判断する 定めている。 整備している。 適正である 2倍を超えないようにしている。 行っている 学力入試において、該当の範囲内の合格者としている。	専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会 専攻科委員会

8 専攻科課程の教育活動の状況

松江工業高等専門学校自己点検・評価書

評価項目		自己点検結果	資料名	担当	
8-3 修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に照らして、学習・教育・研究の成果が認められること。	8-3-① 成績評価・修了認定の結果から判断して、修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	満たしていると判断する	専攻科委員会	
		(2) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価しているか。	整備している。	8-2-②-(1)-1 ・専攻科委員会規則 8-3-①-(1) ・学位授与電子申請システム	専攻科委員会
		(3) (2)の結果から学習・教育・研究の成果が認められるか。	把握・評価している。	8-3-①-(2) ・専攻科特別研究最終報告会評価表 8-3-①-(3) ・専攻科生研究業績および受賞者一覧	専攻科委員会
	8-3-② 達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・修了生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて、学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	満たしていると判断する		専攻科委員会
		(2) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。	整備している。	8-3-②-1 ・専攻科委員会規則	専攻科委員会
		(3) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。	行っている。	8-3-②-2 ・自己点検・評価委員会規則 8-3-②-3 ・専攻科教育改善アンケート	専攻科委員会
		(4) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。	行っている。 修了生アンケートにおいて把握・評価を行っている	8-3-②-4 ・卒業生アンケート 8-3-②-5 ・就職先アンケート	専攻科委員会
		(5) (2)~(4)の評価結果から学習・教育・研究の成果が認められるか。	行っている 企業アンケートにおいて把握・評価を行っている	8-3-②-6 ・自己点検・評価議事要旨	専攻科委員会
	8-3-③ 就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 学校として把握している最近5年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	満たしていると判断する		専攻科委員会
		(2) 学校として把握している就職先や進学先は、各専攻の養成しようとする人材像に適したものとなっているか。	認められる。 企業アンケートにて把握している。	8-3-③-(1) 修了者進路実績表	専攻科委員会
	8-3-④ 修了生の学位取得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	以下の自己点検・評価結果を踏まえて、当該観点の内容を満たしているか。 (1) 過去5年間の修了生の学位取得の状況から、学習等の成果が認められるか。	満たしていると判断する		専攻科委員会
			認められる。	8-3-④-(1) ・学位取得状況	専攻科委員会
	自己点検・評価委員会	専攻科においては、三つポリシーに基づき実施されており、専攻科委員会において検証も行われている。特筆すべき点として次のことが挙げられる。専攻科実験において、日本工学教育協会にて工学教育賞を受賞した。社会ニーズに対応したエンジニアリングデザインプログラムを実施している。就職においては高い求人倍率を有しており、希望の職種に進んでおり、進学も近年増加している。研究活動においては学会発表を必須としており、各自がそれぞれの研究テーマで深く研究に取り組んでいる。大学院生も参加している学会において、複数件の研究発表に関する受賞も毎年コンスタントにある。			